



ごあいさつ

理事長 川邊俊一



(元警察庁情報通信局長)

令和7年6月12日東京で開催した当協会の総会での新理事長挨拶です。

ご出席の皆さま、本日はご多忙の中、一般社団法人全信工協会の総会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

私、川邊俊一は、本日をもちまして、大塚前理事長の後任として、理事長の職を拝命いたしました。微力ではございますが、協会のさらなる発展を目指し、会員皆様のご期待にお応えできますよう、誠心誠意務めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、全信工協会は、交通信号機工事に関わる高度な専門性と、安全・安心を支える技術の継承、そしてその向上を目的として、資格の認定・研修・指導といった重要な活動を担ってまいりました。

近年、そうした社会インフラの根幹を支える私たちの使命は重要性を増しており、当協会の活動に対する期待も一層高まるものと考えております。

しかしながら、そうした期待の高まりの一方で、我々の取り組みを取り巻く状況には、大きな変化の兆しが現れています。例えば、デジタル化・スマート化等の技術革新の波は信号機工事の現場にも押し寄せており、新たな技術への対応、若手技術者の育成、そして現場の安全確保といった課題が山積しております。また、少子・高齢化に伴う人材確保の難しさは、日々に深刻さを増しております。

私は、これらの課題に、協会として積極的かつ柔軟に取り組み、会員の皆様と共に、実効性ある施策を講じてまいりたいと考えております。また、関係諸官庁をはじめ、関係各位との連携を一層深め、社会から信頼される団体としての責務を果たしてまいり所存です。

会員各位におかれましては、どうか一層強力なご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、大塚前理事長をはじめ、これまで協会を力強く牽引されてきた諸先輩方のご尽力に、心より敬意と感謝を申し上げます。

以上、粗辞ではございますが、就任のごあいさつとさせていただきます。
ありがとうございました。

令和7年6月12日、令和7年度一般社団法人全信工協会定時総会を東京都墨田区第一ホテル両国において開催いたしました。

○ 審議事項

第1号議案 令和6年度事業報告及び決算報告
並びに監査報告に関する件
事業報告及び決算報告並びに監査報告書を承認

第2号議案 任期満了に伴う役員の選任に関する件
理事21名(留任15名、新任6名)
監事(留任1名、新任1名)

第3号議案 定款の一部変更に関する件
協会への参加資格の自由度を増すために「工事」の文言を削除

第4号議案 会費等に関する規程の一部改正に関する件
準会員を賛助会員に改正

○ 報告事項等

ア 令和7年度事業計画及び収支予算について

イ 会員規程の一部改正について

○ 定時総会終了後理事会を開催し、大塚理事長の勇退に伴い、新理事長に元警察庁情報通信局長の川邊俊一氏が選任されました。

退任される方へ感謝状を贈呈

(左から大塚氏、笠島氏、高塚氏、塩野氏、横田氏) ▶



▲
総会風景



N Fボード体験会

令和6年4月11日、『交通信号工事工法等検討委員会』主催により、株式会社東管 八王子研修場(東京都八王子市)にて、N Fボード体験会が第1部(午前)、第2部(午後)の2部制(同内容)で実施されました。

実際にN Fボードが使用されている建柱状況を見学後、加工方法や設置及び撤去等を体験しました。

各部とも、作業体験には5社(1社2~3名)、見学には20数名が参加しました。

※N Fボードとは、J F Eプラリソース株式会社製の再生プラスチックボードです。

埋設型枠として使用の場合、大幅に工期の短縮を図ることができます。



N Fボード商品紹介 ▶



令和6年度広域緊急援助隊合同訓練①

令和6年11月11日、旧秋田空港跡地（秋田県秋田市新屋町）において、東北管区広域緊急援助隊合同訓練が実施されました。

訓練には、松澤電気工事株式会社様、常盤電業株式会社様、大館桂工業株式会社様、ヨシトキ電気興業有限会社様、日信電子サービス株式会社様のご協力をいただきました。

災害による交通信号機の倒壊を想定し、仮設信号機の設置とともに、信号機滅灯時の可搬式発動発電機（ガソリンエンジン）及びPHV（Plug-in Hybrid Vehicle）による給電操作の説明を行いました。



後日、秋田県警察本部よりお礼のご連絡を頂きました。

令和6年度広域緊急援助隊合同訓練②

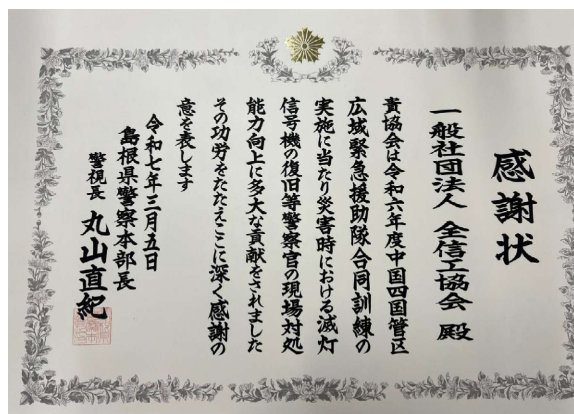
令和6年11月14日、中海ふれあい公園（島根県安来市穂日島町）において、中国・四国管区広域緊急援助隊合同訓練が実施されました。

訓練には、株式会社シンコーワ様、株式会社デューイテクニカル様、シグナル電子株式会社様、ミナモト通信株式会社様、I・T・O株式会社様、富士瓦斯株式会社様、山陽酸素工業株式会社様、山陽エースライン株式会社様、株式会社町田電気様、株式会社コアテクノ様のご協力をいただきました。

早朝にマグニチュード8.1の地震が発生し、それに伴う津波、家屋倒壊、地滑り等が島根県内全域で発生している想定で、仮設信号機の設置及び信号機滅灯時の給電方法について説明しました。

東北管区で説明した給電方法以外に、リチウム電池使用の無停電電源装置による給電操作も併せて説明しました。

後日、島根県警察本部から、上記訓練に対する感謝状を頂きました。



令和6年度臨時総会

令和6年12月13日、第一ホテル両国（東京都墨田区）及びオンラインにて令和6年度全信工臨時総会を開催しました。

- 議案 定款に定める主たる事務所の位置の変更（墨田区から港区へ）
- 理由 建物の老朽化により建替え予定があり、同年12月下旬に事務所を移転するため

令和6年12月26日、東京都中小企業会館 9階講堂（東京都中央区銀座）において、交通信号施設施工・管理講習会を開催し、当協会会員等約50名が受講しました。

全信工協会理事長の挨拶の後、

- | | |
|------------------------|----------------------------|
| ○警視庁交通部交通管制課信号機整備担当管理官 | 川杉様「適正施工のための留意事項」 |
| ○コイト電気株式会社様 | 「視覚障害者付加装置の機能」 |
| ○株式会社京三製作所様 | 「高度化光ビーコンの機能」 |
| ○住友電気システムソリューション株式会社様 | 「新交通信号制御機の機能」 |
| ○全信工協会 | 「交通信号工事工法」、
「交通信号制御の基礎」 |

の講義を実施しました。

講義終了後、質疑応答があり受講者はそれぞれ疑問点を質問し盛況のうちに終了しました。

令和6年度広域緊急援助隊合同訓練③

令和7年2月6日、今季最大の寒波の影響で小雪の降る中、上野公園（奈良県五條市上野町）において、近畿管区広域緊急援助隊合同訓練が行われました。

株式会社町田電気様、株式会社コアテクノ様、ミナモト通信株式会社様のご協力をいただき、他県からの応援も含め、関係機関等、約400名が参加しました。

訓練は、マグニチュード7.3の地震が起き、市街地では多くの家屋が倒壊し道路が寸断、山間部では土砂崩れなど、甚大な被害が発生した想定で行われました。

仮設信号機を設置し、新技術である、EV車による信号機への給電操作の説明及び体験のほか、非常用電源箱を介さず直接制御機内に接続可能なタイプの外部電源を使用して信号機の運用を行いました。



信号工事ミス防止講習会

三重県警察の発注する令和6年度交通信号改良事業において、重大な工事ミスが発生しました。

幸いにも交通事故を惹起することなく正規運用となりましたが、再発防止を図るため、交通規制課長より講習会の開催依頼を受け、令和7年3月7日、津市において「信号工事ミス防止講習会」を当協会中部地区委員会主催で開催しました。

須川交通規制課長挨拶

森岡地区委員長挨拶

古市副理事長挨拶に続いて、

交通管制センター井上係長による事案概要説明、

当協会伊藤参与による事故防止対策の講習と続き、

工事ミスに対するディスカッションも実施し、参加者全員工事ミスについて再認識をしました。



国家資格である陸上特殊無線技士と電気通信工事施工管理技士の令和7年度春季eラーニング講座が下記の通り開設されました。

講座名	開設期間
第一級陸上特殊無線技士	4月1日～6月11日
第二級陸上特殊無線技士	
1級電気通信工事施工管理技士（第一次検定）	6月24日～9月7日
2級電気通信工事施工管理技士（第一次検定）	4月1日～6月1日

なお、令和7年度秋季eラーニング講座が8月5日より、順次開設されます。別途お知らせしていますので、そちらも併せてご覧ください。

第9回交通信号工事甲子園

令和7年6月2日、第9回交通信号工事甲子園を三重県菰野町で開催しました。

ご来賓として、三重県警察本部交通部参事官森阪剛士様、愛知県警察本部交通規制課長金崎翔平様、一般社団法人あさあけ代表理事野浪隆様のご臨席をいただきました。

『災害復旧を安全かつ円滑に進められるよう切磋琢磨する』との本来の目的に沿って、今年の競技種目は、比較的経験の浅い社員が競い合う午前の部では歩行者用灯器の復旧工事、ベテラン社員が技術を競い合う午後の部では、信号柱の仮設工事といたしました。

競技の結果は下記のとおりで、最優秀班長賞は、五島電気建設株式会社（京都）に贈られました。



	午前の部	午後の部
優勝	株式会社アサヒ電設(三重)	五島電気建設株式会社(京都)
準優勝	株式会社アサヒ電設(三重)	株式会社北越ティーテック(石川)
第三位	株式会社シンコーワ(愛知)	株式会社アサヒ電設(三重)

また、今回の競技が柱復旧であることに伴い、建柱における鋼製根巻方式の実演を行いました。



日本地工製鋼製根巻



ヨシモトポール製鋼製根巻



▲
第9回
交通信号
工事甲子園

令和7年6月10日、株式会社アイテック様（埼玉県熊谷市）において、「交通信号施設実務講習会」が実施され、ご来賓として警視庁より2名、埼玉県警より1名のほか、総勢162名の方に参加いただきました。

【午前の部】では3講習、【午後の部】では9講習が行われました。

【午前の部】

- ①クレーン車
(定格総荷重表、点検ポイント)
- ②フルハーネス
(落下体験、取替基準)
- ③高所作業車
(墜落制止用器具、地盤養生の必要性)



【午後の部】

- ④新交通信号制御機
(警視庁仕様)
- ⑤新交通信号制御機
(埼玉県警仕様)
- ⑥視覚障害者用付加装置、
音声押ボタン



- ④防水型制御機、音声押ボタン箱
- ⑤トルク締め付け体験
- ⑥アスコンライトの使用



- ⑦アース施工方法
- ⑧ NFボード
- ⑨施工時に使用する足場用具



最後に質疑の時間が設けられ、受講者はそれぞれ疑問点等を質問し、より理解を深め、盛況のうちに終了しました。

令和7年6月18日、大阪府大阪市の大阪ガーデンパレスにおいて、全信工西日本地区会議を開催しました。近畿地方を中心とした業界関係者約60名が参集しました。

本年6月12日の定時総会で新理事長に就任した川邊俊一氏の開会のあいさつに始まり、今年度役員の紹介、直近の全信工の活動報告の後、新理事長による「全信工協会会員に向けた交通分野の展望」についての記念講演がありました。

当協会の活動として、

○技能検定の公的資格化

○全信工セミナー

○広域緊急援助隊合同訓練

を紹介しました。

また、川邊俊一新理事長による記念講演は、自己紹介に始まり、

○A I 元年と人間

○自動運転の進展

○A I 時代と信号機工事

○今後の人口動態と交通需要

○信号工事分野で事業を行う者の課題として…

・通信事業や都道府県警察との関係

・人材確保

等、新しい視点からの発想を述べられ、盛況のうちに閉会となりました。

会議終了後、有志にて意見交換会を開催し、忌憚のない意見交換を行い終了しました。



交通信号技術講習会

交通信号工事士の資格未保有者等、交通信号工事の経験が浅い者を対象に、技術レベルの向上を目的とし、オンライン講習会を実施しました。

今後も定期的 to 実施していく予定ですので、技術レベルの向上にご活用ください。

	工事講習会	交通工学講習会
日 時	令和7年7月29日 13:30~16:30	令和7年7月31日 13:30~16:00
講 師	伊藤篤彦 氏 (当協会参与)	宮田晋 氏 (当協会参与)
内 容	『交通信号工事施工ハンドブック』 の重要箇所	交通工学の基礎的内容

右記QRコードは、今回実施した講習会のご案内です。
次回以降の受講検討の資料として、ご覧ください。



▲
工事
講習会



▲
交通工学
講習会

全信工セミナー「交通信号を取り巻く環境の変化への対応」

当協会が主催する「全信工セミナー」は、令和5年より毎年1回開催されており、今年は第3回となりました。これまでも…

第1回 令和5年10月31日 近畿管区警察局管内の行政担当者、メーカー、保守会社、施工会社、設計会社を対象とした「変革する信号技術」（5講演）を滋賀県大津市にて開催。

第2回 令和6年8月1日 九州管区警察局管内の行政担当者、メーカー、保守会社、施工会社、設計会社を対象とした「交通信号に関する当面の課題と取組み」（4講演）を開催し、各管区の警察本部の方々にもご列席を賜りました。

第3回目となる今年は「交通信号を取り巻く環境の変化への対応」をテーマに掲げ、令和7年7月15日、山口県山口市のKDDI維新ホールにて開催し、中国・四国管区管内のみに限らず、近畿管区の警察本部の方々にもご列席を賜りました。

川邊俊一理事長の開会のあいさつに続き、

○ヨシモトポール株式会社 青木誠氏による
「交通信号機用鋼管柱の耐用年数について」

○信号電材株式会社 坂本浩一氏による
「LED更新後の老朽化施設への取組み」

○コイト電工株式会社 渡辺将史氏による
「安全な自動運転社会に向けた取組み」

○当協会参与 桐生典夫氏による
「大規模災害後の交通信号施設の復旧に関する研究と対応」



川邊理事長 開会あいさつ



講演風景

の4講演が行われ、北は山梨から南は熊本から多くの企業様にご出席いただき、参加された計114名は熱心に耳を傾けていました。

各講演の終了後には質疑応答の時間が設けられ、非常に意義があったという意見が多数あり、日ごろ疑問に思っていたこと等についても真剣に討議がなされました。

最後に、当協会の古市光明副理事長の閉会のあいさつにより盛況のうちに閉会しました。



質疑応答風景

令和7年9月、交通信号工事士等技能検定試験を7都市で実施します。

- ・試験実施日時：令和7年9月21日（日） 13：10～16：20
- ・試験地：札幌市、仙台市、東京都、名古屋市、大阪市、広島市、福岡市

資格名	受験資格・実務経験
交通信号技士	不要
交通信号工事士	交通信号施設に係る「施工・点検業務」に関し4年以上
交通信号監理士	交通信号施設に係る「施工・点検業務」に関し8年以上 又は「交通信号工事士」の資格取得後4年以上
交通信号設計士	交通信号施設に係る「調査・設計業務」に関し8年以上 又は「交通信号技士」か「交通信号工事士」の資格取得後4年以上
交通信号保守診断士	交通信号施設に係る「保守点検・診断業務」に関し8年以上 又は「交通信号工事士」の資格取得後4年以上



技能検定

eラーニング講座②

国家資格である陸上特殊無線技士と電気通信工事施工管理技士の令和7年度秋季eラーニング講座が開設されます。

受講申込の受付期間は、いずれの講座も、7月14日～8月4日となっています。
申込申請書をHPよりダウンロードの上、期限内にお申し込みください。

講座名	開設期間	試験実施日
第一級陸上特殊無線技士	8月5日～10月16日	10月17日
第二級陸上特殊無線技士		CBT方式（随時）
1級電気通信工事施工管理技士 （第二次検定）	10月21日～12月5日	12月7日
2級電気通信工事施工管理技士 （第一次検定・第二次検定）	9月2日～11月14日	11月16日



eラーニング
受講案内

当協会の各eラーニング講座は、約50本の動画（1本当たり15分程度）で構成されており、動画視聴後には数問出題され、理解度をチェックしながら進められます。

また、1週間単位で、質問をメールで受け付け、講師が回答するシステムもあり、講座の後半では、過去問題や講師が提示する演習問題、添削課題に取り組んでいただけます。

受講料は民間講座よりも経済的な価格に設定されていますので、資格取得をご検討中の会員の皆様は、ぜひご活用ください。

一般社団法人 全信工協会

〒108-0073 東京都港区三田3丁目4番12号三田 MTビル5F
TEL：03-6659-3586 FAX：03-6809-5088
ホームページ：<https://zenshinko.jp> E-mail：info@zenshinko.jp

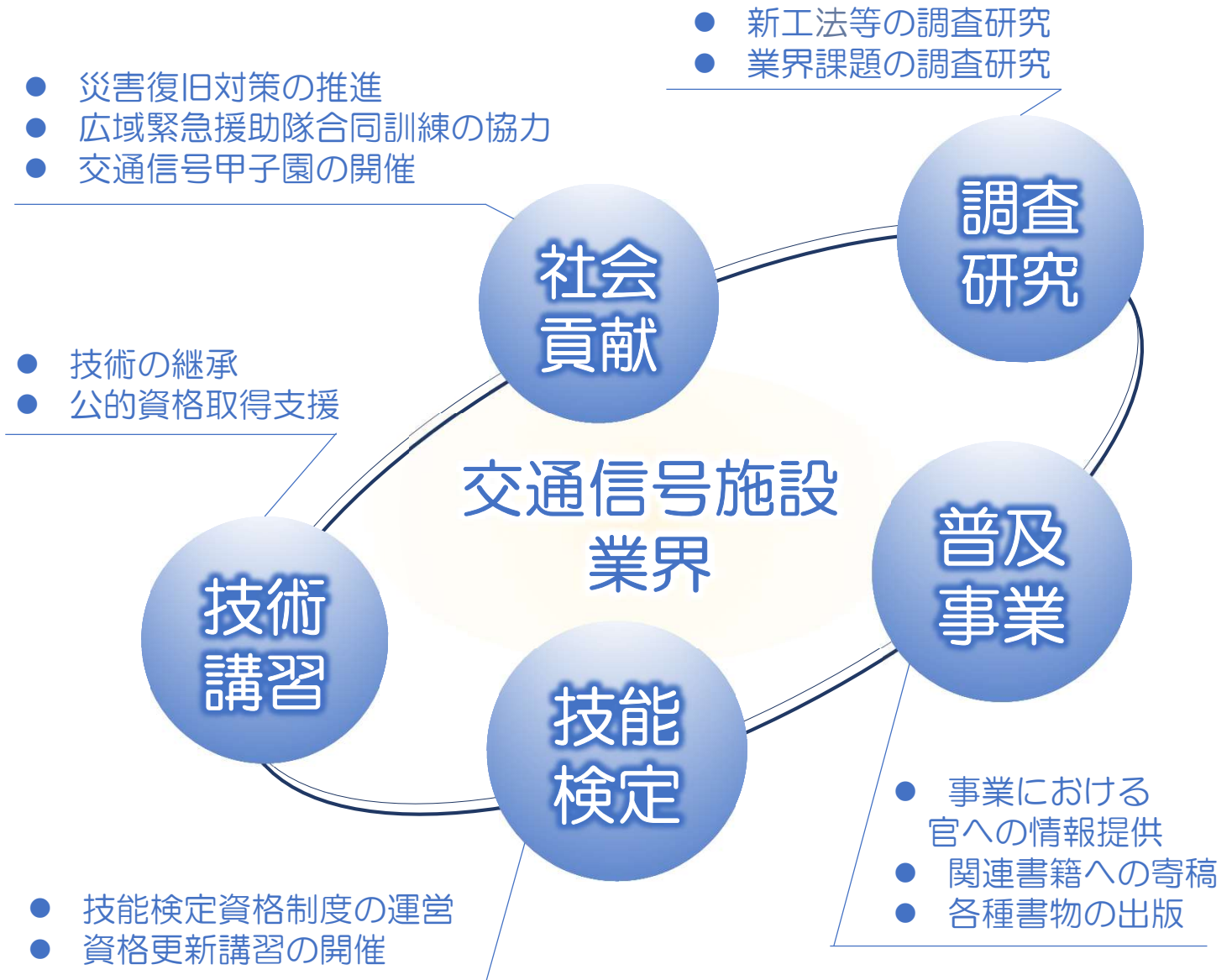


協会ホームページ

※各会員様の連絡担当者等の変更・追加（複数も可能）につきましては、氏名・所属、役職、メールアドレス、電話／FAX番号を全信工事務局までメール（info@zenshinko.jp）にてご連絡頂きますようお願いいたします。

全信工協会の主な事業

main business



1. 交通信号施設の設計・施工・保守技術に関する調査研究
2. 交通信号施設の設計・施工・保守業務の品質確保及び生産性向上に関する調査研究
3. 交通信号施設の設計・施工・保守業務に従事する人材の確保及び育成に関する調査研究
4. 前各号の調査研究成果の推進、普及
5. 交通信号施設に係る講習会、研修会及び競技会の開催並びに図書の発行
6. 交通信号施設の設計・施工・保守業務に係る技能検定
7. 災害時における交通信号施設の復旧対策の推進及び支援
8. 関係行政機関に対する提言、要望及び協力
9. その他この法人の目的を達成するために必要な事業